

## カントリーランク

カントリーランクは、大手格付機関が公表している政府債務の償還可能性を示す国債の格付等を参考に、各国を4段階に区分し、「国の政治・経済、財政状況の調査必要度」の目安を表した指標です。

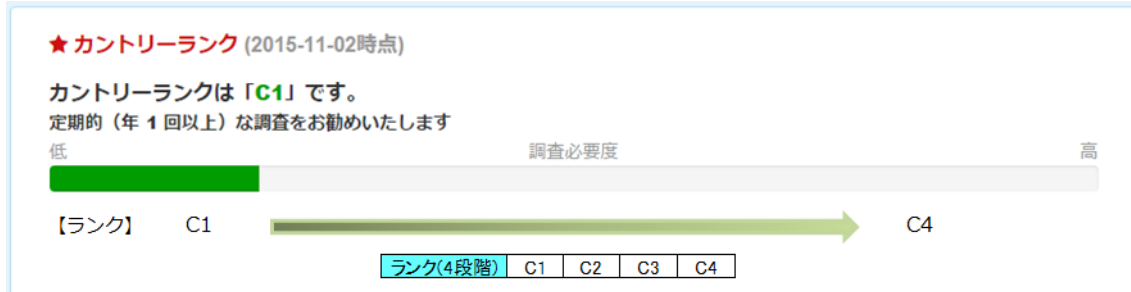
海外取引においては、取引先が優良企業であっても、カントリーリスクによる急な送金停止、通貨の規制や切り下げの発生、賃金や原材料費の高騰による生産費用上昇等といった様々な影響を受けることがあります。

また、カントリーリスクの状況によっては、取引にかけている保全策に影響が生じることもあります。(ex.貿易保険を引き受けて貰えなくなる、条件や料率が変わる 等)

カントリーランクの高低やそのトレンド、各国の最新動向を参考に、経済リスク、政治リスク、法務リスク、社会リスク、自然災害リスク等の広範なリスクに注意しましょう。

### 定義説明

- C1** : 国としての債務履行能力は相応とされている。外部格付機関の格付は凡そ A クラス以上。
- C2** : 現状、国としての債務履行能力に大きな問題はないとされているが、状況の変化には注意が必要。外部格付機関の格付が投資適格。
- C3** : 国としての債務履行能力に注意を要すると見られているため、個別に調査必要。外部格付機関の格付は凡そ投機的格付。
- C4** : 国の債務履行能力に既に相当の問題があると見られている。外部格付機関の格付は CCC クラス以下。



※カントリーランクは、大手格付機関が公表している国債の格付等を参考にしているものであり、政府の償還可能性は高くとも、国の政治や社会体制などに起因するリスクがあるため注意が必要です。広範なカントリーリスク要素の全てを網羅しているものではないため、必要に応じて専門家にご相談ください。